

エネルギー経済Ⅱ

科目ナンバリング ECP-226

選択 2単位

中西 俊裕

1. 授業の概要(ねらい)

社会を動かす原動力となっている石油、天然ガスなどエネルギーについて経済的な観点から理解を深めるのが狙い。エネルギー問題についての過去や近年の事例を学ぶことを通じ、一国の経済や国際市場がどのようなメカニズムで動き、どんな要因の影響を受けるかを論理的に考える習慣をつける。

2. 授業の到達目標

エネルギーと経済のかかわりについて事例を挙げて他者に説明できるようになること。環境問題、国際政治などの要因が主要エネルギーの変遷を促してきた過程を理解し、かつ分かりやすく論述できるようになること。レポートや記述式試験を通じて論理的に文章を書けるようになること。

3. 成績評価の方法および基準

中間レポート20%、小テスト・積極性など授業態度20%、期末試験60%

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは毎回プリントを配布します。

参考文献

経済産業省 エネルギー白書 2022年版 経済産業調査会

高橋洋 エネルギー政策論

岩波書店

中西俊裕 中東和平 歴史との葛藤 日本経済新聞社

中津孝司 地殻変動する国際エネルギー資源業界 創成社

5. 準備学修の内容

次の回の講義テーマに関し新聞やインターネットで基本事項について自発的に調べる。随時キーワードなどを提示するのでそれを調べる。

6. その他履修上の注意事項

授業中の私語は禁止。期末試験を受けるには原則として60%以上授業に出席することが前提条件となります。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクションーエネルギーの基本的な知識、トピック、授業の進め方についての説明
- 【第2回】 【エネルギーの進化①】主要なエネルギー源は歴史的にみて石炭、石油、原子力などへと広がりを見せ、推移してきた。その変化を決めた要因は何だったのか。コスト、効率性、社会の変化、政治的要因など多様な角度から概観し考える。今後のエネルギー像も展望する。
- 【第3回】 【エネルギーの進化②】現代においては、原子力や再生可能エネルギーなど技術の進歩によって化石燃料以外の新しいエネルギーが生まれた。石油供給への不安や環境問題への対応が背景にあるが、政府が促進しようとする「理想」と民間企業がそれを実行しようとする際に直面する「現実」の間にはギャップが存在する。ウクライナでの紛争によって石炭使用が復活したケースなど具体例を扱いながらエネルギー進化への障害について考える。
- 【第4回】 【石油①戦略物資から商品へ】かつて安全保障上の重要物資として国家がその生産に強くかかわった石油は、スポット価格、先物取引の普及によって民間企業、投資家のマネー戦略の対象という色彩も濃くなった。そうした移り変わりの背景にある政治・経済上の変化について実例を挙げながら考える。
- 【第5回】 【石油②欧米と中東】かつて石油メジャーが支配・管理していた石油の生産や価格は、第2次世界大戦後、資源ナショナリズムとともに中東などの手に移ったが、先物市場によって欧米関与の余地がまた拡大した。欧米と、中東など産油国の主導権争いという観点から、変動してきた「石油の価値」について考察する。
- 【第6回】 【石油③シェールオイルの展望】2010年代の石油高価格時代の訪れはそれまでアイデア止まりだったシェールオイルの生産を軌道に乗せた。米国を石油輸出国に転換させたシェール革命について、経済的な効果と従来からの産油国との競合などを中心に考える。
- 【第7回】 【再生可能エネルギー①】日本、欧州、米国など企業の事例について比較検討する。太陽光、風力のほかバイオマスなど多様な再生エネルギーを扱う。水素エネルギーも含む。
- 【第8回】 【再生可能エネルギー②】普及支援策が目指す目標と現実について、各政府の対策事例を検討し、支援策の有効性を検討する。
- 【第9回】 【原子力】二酸化炭素を出さない利点はあるが、危険な側面も併せ持つ原子力について、その成り立ちから発電、軍事、医療などの様々な使用例、経済効果について考える。
- 【第10回】 【電力①】日本の電力の現状についての事例を参照しながら、電力政策がどう進められてきたかを概観し、原子力発電については大きな課題を投げかけた福島第一原発事故とその後の再稼働を巡る議論を紹介しつつ、今日の電力行政が抱える問題点を考える。
- 【第11回】 【電力②】日本で近年進み始めた電力の自由化について実際の事例を紹介し、欧州など諸外国の研究事例についても考察する。
- 【第12回】 【電気自動車(EV)】中国、英国、フランスなどが相次ぎEV開発の優先方針を打ち出した背景、従来型自動車との比較、普及への課題を考える。各政府の電動車普及のための促進策について内容を比較。
- 【第13回】 【日本とエネルギー】他国に比べてエネルギー供給途絶について敏感と言われる日本の、過去のエネルギー調達、供給政策を振り返るとともに、政府が目指すエネルギー政策を概観してその進化と、なお残る課題をまとめる。
- 【第14回】 【総論】人類は技術の進歩により数多くのエネルギー源を見出しそれを経済開発に役立ててきた。今後考えられるエネルギーの理想像とは。またそれはどう経済に影響するのか。国内外の例や研究を引用しながら考察する。
- 【第15回】 【まとめと期末試験】